（様式第１号）

令和５年度予算

社会的重要インフラ自衛的燃料備蓄事業

補助金交付申請書

全国石油商業組合連合会

会長　　森　　　洋　殿

申請日：　　　　年　　月　　日

社会的重要インフラ自衛的燃料備蓄事業に係る業務方法書第５号第１項の規定に基づき、下記のとおり申請します。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| １. | 申請者（設置する設備の所有および支払名義人） | 〒住所 | 〒 |
| 会社名又は団体名 |  |
| 代表者名 |  |
| TEL： | FAX： |
| ２. | 法人番号（１３桁） |  | ※参照：手引書Ⅱ.２ |
| ３. | 設置施設※複数施設を申請する場合は、申請書類は施設ごとに作成し、経費総括表を添付して、纏めて１回の申請としてご提出ください。 | 〒住所 |  |
| 会社名又は団体名 |  |
| 代表者名 |  |
| TEL： | FAX： |
| ４. | 申請施設の種類 | １.医療施設・介護施設等　　　２.公的避難所　　　３.一時避難所となり得るような施設等 |
| 医療施設の場合、災害拠点病院、救急救命センター、周産期母子医療センター、災害拠点精神科病院、へき地医療拠点病院、へき地診療所、特定機能病院、地域医療支援病院のいずれかに　　　１.　該当する（申請できません）　　　　　２.　該当しない |
| ５. | 施設のうち、避難所となり得る場所の詳細 | （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）医療施設・介護施設等は記載不要 |
| ６. | 該当する優先条件 | １.　国土強靭化法（策定主体：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| ２．「従業員への賃上げ表明書」　　　　　　 あり(表明書添付)　　　　　なし |
| ３．「パートナーシップ構築宣言」　　　　　 あり(宣言書添付)　　　　　なし |
| ４．「えるぼし認定」または「くるみん認定」 あり(認定書添付)　　　　　なし |
| ５.地方公共団体との災害協定等　あり（締結先：　　　　　　　　　　　　　　）　　　　 　なし |
| ７. | 上記1.2.3.4.5を証明する添付資料 |  |
| ８. | 施設の収容人数（事務局含） | 約　　　　　　　　　　　　　人 |
| ９. | 施設等の所有者/運営者 | １.施設の所有者： |  |
| ２.土地の所有者： |  |
| ３.施設の運営者： |  |
| １０. | 補助率の区分※参照：手引書Ⅰ.６ | １.　中小企業　　　　　　　　　　２.　中小企業でない |
| 下記のいずれかに該当する場合は「２.中小企業でない」に○をつけてください。　 1）資本金又は出資金額が５億円以上の法人に直接又は間接に１００％の株式を保有される中小・小規模事業者　2）交付申請時において、確定している直近過去３年分の各年又は各事業年度の課税所得の年平均額が１５億円を超える中小・小規模事業者 |
| １１. | 「工事完了」及び「実績報告書提出」予定日 | 工事完了：　　　　　年　　　月　　　日 | 提出日：　　　　　年　　　月　　　日 |
| １２. | 補助事業に要する経費（見積総額） | 円（税抜） |
| 交付申請額　※ | 円（税抜） |

　　　　※交付申請額は（別紙５）経費積算表の最下段の「申請金額」です。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| １３. | 災害時の管理部署担当者名 | 部署・役職・氏名： |
| TEL： |  | FAX： |  |
| ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ: |  |
| １４ | 設置する設備(油種・実質容量・設置数) | 石油ﾀﾝｸ |  | 工事の種類(新設・増設・入換)  |  |
| 発電機 |  |  |
| その他の燃焼機器 |  |
| 既存するタンク・発電機（油種・容量・台数等） |  |
| 注入口の種類（経口・型式等） | １．汎用型 | ２．汎用型でない |
| 消防法の申請 | １．申請する | ２．申請は必要ない |
| 消防法令（地域の火災予防条例等） | １．適応している | ２．適応していない |
| １５. | 石油製品供給先 | １．既に契約済み | ２．相談を希望する　※１ |
| １６. | 採用見積書に関する他の補助金申請の有無※２※３ | １．他に補助金は申請していない |
| ２．申請している（※必ず、省庁名又は地方公共団体名、補助金名を記載してください。） |
|  |

※１　**石油製品の供給先が確定しないと審査委員会には諮れませんので、委員会開催時までに確定してください。**

※２　１つの見積りに対し、複数の国庫補助金の同時申請は出来ません。

※３　各種地方債等との併用については、事前に確認してから申請してください。

|  |  |
| --- | --- |
| １７. | 補助事業の目的を遂行する為、災害時においても必要な燃料備蓄量について（**日数を記載し、○をしてください。**）※国の調査では、４日間の燃料備蓄が望ましいとされています。 |
| **約　　．**日間の備蓄量を | １．常時、確保します。 | ２．常時、確保は出来ません。 |
| 　　**※小数点第一位まで記載。上記日数の根拠となる計算式を記載した別紙を作成し添付してください。** |
| １８. | 申請した石油タンク内の燃料の品質劣化防止について（必ず○をしてください。）※燃料劣化の目安は、灯油・軽油が約６ヵ月、Ａ重油が約３ヵ月です。 |
| 災害時に使用機器等が不具合なく稼働するよう | １．燃料が劣化しないよう管理します。 | ２．特に管理はしません。 |
| １９. | 発電機等の機器について（購入者は必ず○をしてください。） |
| 災害時にもきちんと稼働するよう | １．定期的にメンテナンスをします。 | ２．特にメンテナンスはしません。 |
| ２０. | 補助金での購入を申請した「燃焼機器」（発電機以外）について（購入者は必ず○をしてください。） |
| 購入の目的及び使用は、 | １．災害時等のみに使用を限定します。 | ２．日常的に使用する為に購入します。 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ２１. | **申請法人の補助事業担当者名及び連絡先（必ず連絡の取れるﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽを記載ください**(代行者が事務手続きを行う場合は別に名刺等を添付ください)） | 部署・役職・氏名： |
| TEL： | FAX： |  |
| ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ: |